

成長期待企業 の イチオシ!

中小企業支援ネットひょうごは成長性を見込んだ企業を「成長期待企業」として選定し、複合的な支援を実施。頑張る企業が誇る製品を紹介します。

簡易基礎工法

株式会社ラスコジャパン

人力のみでの 運搬・施工を可能に 多様な工法開発で受注増

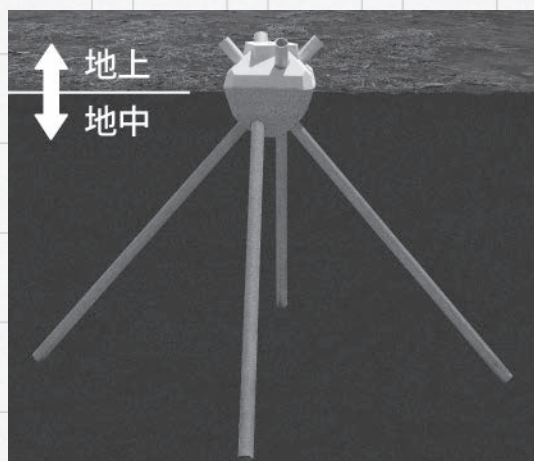
木製の橋やデッキなどの構造物を設置する際の簡易基礎工法で強みを持つ同社。在来工法は重機で掘削した後基礎となるコンクリートを流し込みますが、狭い場所では重機が入り込めなかったり、軟弱な地盤だとコンクリート自体の重さ（50センチ四方で約300キロ）で沈下したりといった問題を抱えています。

これらを克服するため同社が導入したのが「ピンファウンデーション」という工法。軽量の定着ブロック（約35キロ）から地中へ四方に伸びるピンが構造物を支える役割を果たします。「最大の特徴は人力のみで運搬、施工ができること」と島谷学社長。大掛かりな重機で地盤を掘り起こさずに済むため、世界自然遺産や国立公園をはじめ貴重な動植物が生息している場所など、自然環境の保護が求められる案件での採用が進んでいます。

「ピンファウンデーション」は海外からの技術を導入したものでしたが、同社は、顧客からの要望に応える形で独自

の新工法を次々に編み出しました。岩盤のある固い地盤向けにロックボルトを定着させる「ロックファウンデーション」、フェンスなどの支柱を深く打ち込めるよう、杭の先端部分を十字型にして打ち込みやすくした「スリーブパイル」などです。さらに太陽光発電パネルが強風にあおられ破損するケースが目立っていたことから、「ピンファウンデーション」の改良工法を開発。ピーク時の2015年には全売り上げの4割強を占めるほど業績に貢献しました。

「どのような用途に当社の簡易基礎工法が生かせるか四六時中考えている」と話す島谷社長。現在は植物工場など農業向けに新たな工法を開発し、取り組みを強化しています。同社の本来の主力事業である木製の橋や散策道、デッキなど周囲の風景と調和させる景観施設構造物も、簡易基礎工法と組み合わせた手法が評価され順調に成長しつつあります。



四方に伸びたピンで支える「ピンファウンデーション」



世界自然遺産の知床の木道も手掛けた

◎株式会社ラスコジャパンの
簡易基礎工法

株式会社ラスコジャパン／本社所在地：三木市別所町近藤190-1／代表取締役：島谷学
事業内容：簡易基礎工法、景観施設、太陽光発電施設の施工
TEL 0794-86-0081／URL <http://lasco.jp/>

編集後記

「成長期待企業のイチオシ！」のラスコジャパン。日本の市場ニーズを徹底的に拾い上げ、独自工法を開発することで、現在では海外の導入元を凌駕する技術力を持つまでになっています。日本のものづくり企業の底力、誇らしく感じました。

JUMP

2017年2月号 平成29年1月30日発行
発行人：榎本輝彦 編集人：角 正憲

明日へ飛躍する企業をサポート

ひょうご産業活性化センター通信

発行所 公益財団法人ひょうご産業活性化センター

URL <http://web.hyogo-iic.ne.jp/>

神戸市中央区雲井通5-3-1 サンバル6階

TEL 078-291-8526